



令和6年度 美咲市立東小学校グランドデザイン



日本国憲法、教育関係法規
小学校学習指導要領
北海道教育の基本理念
空知管内教育推進の重点
美咲市教育行政執行方針
児童憲章、子どもの権利条約

【東小の教育目標】

わたしたちは 郷土をひらいた先人の
業績をうけつぐ美咲の子です

児童の実態・地域の実態
保護者や地域の願い
教師の願い
時代や社会の要請

目指す学校像

明るく美しい学校 一人一人の児童を大切にしている学校 信頼される学校

学校経営の基本方針

①子どもの笑顔を支える	②子どもの笑顔を創る	③子どもの笑顔を見守る
◆望ましい生活習慣 ◆支持的・共感的な人間関係 思いやり ◆ホールスクールアプローチ※ 【持続可能な社会を創るための学び】	◆子ども一人ひとりが主人公になる学び舎 ◆学び合いの中で育まれる学力、体力、道徳性、社会性 ◆元氣な挨拶と返事、正しい言葉遣い	◆校内外における安心・安全な環境 【危機管理マニュアルの活用と検証】 【迅速・適正な情報伝達と共有】 ◆子どもと向き合うゆとりと時間

目指す児童像

わくわく いきいき 笑顔あふれる東っ子

共に認め合い 学び合い 高め合う児童

重点目標 【社会で活きる力《広い社会で活かされるコミュニケーション能力》の育成】

～多様な体験の場（“もまれる場”）を通して～

- 〇一目的の矢 → 統一された学習規律、学習環境、学習過程のもと、基礎学力を定着させ、学習に向かう態度を育成する。
- 〇二目的の矢 → 学校での生活全般を通して、他者を認め互いの意見を伝え合い、折り合いをつける態度を育成する。
- 〇三目的の矢 → 道徳や児童会活動等様々な場面を通して、自己肯定感を高め、思いやりのある態度を育成する。

重点取組事項

確かな学力の向上	豊かな心の育成	健康保持と体力増進
①「主体的・対話的で深い学び」「ICT(タブレット等)を有効活用した個別最適な学びと協働的な学び」の授業 ②「何がわかったか・何ができるようになったか」など、振り返りの場面の重視 ③「個や習熟度」に応じたきめ細やかな指導 ④中学校とも連携した家庭での学習習慣の確立 ・アンケート【児・保】で「授業がよくわかる」「iPadを使った学習は楽しい」90%【*学校1の1】 ・アンケート【児(高)・保】で「少ない人数で行う授業(異席)はわかりやすい(複数体制による指導は、学力や学習意欲の向上に有効である)」90%【学校1の1】 ・「学年×10+10分」の家庭学習実施70%以上【*学校1の3】 ・アンケート【教】で「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、iPadを有効に活用した授業を行っている」90%以上【学校1の2】	①道徳科を要とした、道徳教育の充実。規範意識や基本的な生活習慣の育成と定着 ②インクルーシブや合理的配慮の視点を活かした、共感的理解を基盤とした生徒指導 ③ねらいを明確にした行事等の指導の工夫。意欲、態度の育成。 ④朝読書、学校図書館の利活用、並行読書の推進など読書活動の充実 ・アンケート【児】で「道徳で考えたことを生活に生かしている」80%以上 ・アンケート【児・保】で「周りの人に感謝や思いやりの心を持って生活している」90%以上 ・アンケート【児・保】で「学校や家で本を読んでいる(子供は読書に親しんでいる)」80%以上	①遊びなどを通して体を動かす機会の促進 ②目標をもって、運動や健康づくりに親しむ態度の育成 ③全学年で繰り返し取り組む[新体力テスト]の実践と記録化 <「体力づくりコーナー」の設置と奨励> ④健康教育の維持・促進 <場と状況に応じた、安全対策の徹底> ・アンケート【児・保】で「進んで体を動かすなど運動に親しんでいる(学校は日常的に児童の体力づくりや運動習慣の向上に取り組んでいる)」85%以上 ・新体力テストで全項目で全国平均以上

組織力に取り組む学校力の向上

短・中・長期のマネジメントの実施

《関連》 安全・安心な学校づくり 特別支援教育の充実 信頼される教職員 教職員の働き方改革

特別活動の充実	総合的な学習の時間の充実	生徒指導の充実
◇共に考え、共に伸びる特別活動の推進 ①児童会活動を核とした、自発的・自治的な活動の推進 ②聞き、話し、質問する話し合い活動の活性化 ③自己肯定感、有用感を養う活動の推進 ④全学年、年間を通じて行うキャリア・パスポートの活用 ・アンケート【児・保】で「自分の思いや考えを相手に伝えることができる」80%以上 ・アンケート【児・保】で「きちんと挨拶している」90%以上	◇「ふるさと美咲」(グリーンルネサンス推進事業、美咲の産業、食育)を学ぶ学習の充実 ①他の教科の学びを生かし、思考力や創造力を育てるカリキュラムの編成 ②学んだことを日常生活や郷土に生かそうとする場の設定 ・アンケート【教】で「地域の人材と連携を図りながら郷土の教育活動を充実させている」90%【学校1の3】	◇的確な実態把握と共感的理解に基づく組織的な生徒指導の継続 ①Q Uを活用した実態把握と自己有用感を育む学級経営 ②アンケート及び教育相談の実施 ③いじめ撲滅に向けた実践的活動 ・アンケート【児・保】で「学校は楽しい」90%以上 ・いじめアンケート【児】で「いじめは許されない」100% ・アンケート【児・保】で「困ったときや悩んだ時に先生に相談できる」100%

経営方針具体化のための要素

【組織力の向上】	【学年・学級経営の充実】
・分掌会議、コアチーム会議など機能的な会議の定着 ・学校経営参画意識の向上 ・メンター研修、ミニ研修の日常化 ・PDCAとOODAマネジメントサイクル	・学習規律、学習環境、学習過程の統一 ・日常的な情報交換による、教育観の共有 ・積極的な生徒指導(未然防止 早期発見、早期指導、早期解消) ・支援の必要な児童への組織的な対応
心理的安全性の高い職場づくり	チーム東小学校
【家庭・地域・学校運営協議会・小中一貫教育】 ・基本的な生活習慣、学習習慣の確立。家庭学習強化週間 ・学校評価(関係者評価、保護者アンケートなど) ・教育活動の積極的な発信と方法の工夫(各種通信、HPなど) ・市内各校種との交流、接続、連携の推進	【実効性のある働き方改革】 ・美咲市働き方改革推進計画に基づく目標の達成 ・意識改革、効率化、環境整備 ・ピラミッド型からジェンガ型への転換 ・C4TH、Google、ミライシードなどICTの活用



ねらい・目的

P

D

C

A

子どもの姿



※ユネスコ等が推奨している「ホールスクールアプローチ」とは、持続可能な社会を創るための学びとして、教室の中で展開される授業のみならず、学校のあり方そのものを見直していく手法である。校内の水や食、エネルギー、校舎・校庭、健康、音、マイノリティーの人々(障がいをもつ児童や外国籍の児童等)、地域および海外とのつながり、教職員の働き方など、学校生活を構成しているあらゆる要素について持続可能という観点から見直していく日々の営みである。